

病床確保計画（確保病床に位置付けられた臨時の医療施設・入院待機施設の定員数を含む）

令和4年8月15日公表

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）														病床確保計画（緊急フェーズ）（※1）											
	フェーズ1		フェーズ2		フェーズ3		フェーズ4		フェーズ5		フェーズ6		緊急フェーズⅠ		緊急フェーズⅡ		緊急フェーズⅢ									
	即応病床 (計画)数	うち重症者 向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画)数	うち重症 者向け						
	うち臨時の医 療施設等 分	うち臨時の医 療施設等 分		うち臨時の医 療施設等 分	うち臨時の医 療施設等 分		うち臨時の医 療施設等 分	うち臨時の医 療施設等 分		うち臨時の医 療施設等 分	うち臨時の医 療施設等 分		うち臨時の医 療施設等 分	うち臨時の医 療施設等 分		うち臨時の医 療施設等 分	うち臨時の医 療施設等 分		うち臨時の医 療施設等 分	うち臨時の医 療施設等 分						
01 北海道	1,207	9,685	1,477 0	90 0	フェーズ1の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	1,747 0	105 0	フェーズ2の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	2,248 0	140 0					1,207	9,685	2,434 186	140 0								
02 青森県	139	1,131	371 0	31 0	感染者の急増 1週間当たりの新規陽性者21人以上	371 0	31 0	感染者の急増 1週間当たりの新規陽性者71人以上 療養者数101人以上	383 0	31 0	爆発的な感染拡大 3週間後の病床使用率が50%以上	383 0	31 0	爆発的な感染拡大 1週間当たりの新規陽性者70人以上 療養者数1001人以上 病床使用率50%以上	405 0	31 0	139	1,131	405 0	31 0						
03 岩手県	86	574	201 0	32 0	確保病床の使用率が20%を超える日が、 数日続いた日の翌日	339 0	34 0										86	574	435 0	36 0						
04 宮城県	360	2,772	217 0	15 0	フェーズ1の病床占有率が50%を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	243 0	18 0	フェーズ2の病床占有率が50%を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	281 0	20 0	フェーズ3の病床占有率が50%を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	338 0	26 0	フェーズ4の病床占有率が50%を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	408 0	45 0	360	2,772	555 0	55 0						
05 秋田県	72	438	45 0	1 0	県内感染者1名発生	109 0	6 0	週当たり新規感染者数7人/フェーズ2 病床の30%	129 0	10 0	週当たり新規感染者数25人/フェーズ3 病床の30%	158 0	12 0	週当たり新規感染者数50人/フェーズ4 病床の30%	245 0	15 0	72	438	305 0	24 0						
06 山形県	440	3,430	18 0	0 0	・二次医療圏において、患者が1名以上発生した場合。 ・県内で感染経路不明の患者が2名以上発生した場合。	112 0	20 0	・患者が増加し、感染症指定医療機関のみでは対応が困難となることと想定される場合	158 0	26 0	・患者が増加し、感染症指定医療機関のみでは対応が困難となることと想定される場合。	251 0	26 0				440	3,430	261 0	26 0	患者が急増し、フェーズ4対応医療機関の病床での受入調整ができないほど病床が逼迫することが想定される場合	291 30	26 0			
07 福島県	138	1,000	560 0	27 0	週当たり新規感染者数2.5人/10万人となった日	648 0	38 0	週当たり新規感染者数5人/10万人となった日	757 8	45 0							257	1,700	829 8	45 0						
08 茨城県	170	1,343	300 0	30 0	現フェーズの1/3の病床稼働率を目安	410 0	30 0	現フェーズの1/3の病床稼働率を目安	500 0	40 0	現フェーズの1/3の病床稼働率を目安	600 0	70 0				319	2,522	800 0	80 0						
09 栃木県	339	2,070	414 33	22 0	病床使用率が20%以上になった日	500 33	32 0	病床使用率が50%以上になった日	593 33	46 0							339	2,070	593 33	46 0						
10 群馬県	367	2,856	336 0	13 0	入院患者数100～150人となった日	453 0	21 0	入院患者数150～200人となった日	583 0	27 0	入院患者数250～300人以上となった日	667 0	37 0				367	2,856	667 0	37 0						
11 埼玉県	425	4,250	500 0	50 0	病床使用率が50%以上となった2週間後	900 0	90 0	病床使用率が50%以上となった2週間後	1,300 0	130 0	病床使用率が50%以上となった2週間後	1,700 0	170 0				2,338	22,815	2,206 130	239 0						
12 千葉県	400	4,000	1,183 48	82 0	国のレベルⅡ相当	1,797 224	133 0										1,800	14,200	1,853 224	168 0						
13 東京都(※3)	4,923	46,616	5,190 529	420 0	病床使用率が40%超かつ上昇傾向など、総合的に判断	7,329 529	655 0										4,923	46,616	7,329 529	500 0						
14 神奈川県	1,800	12,000	1,000 39	100 0	フェーズ1の確保病床の85%を超えることが想定される3週間前の日	1,300 78	130 0	フェーズ2の確保病床の85%を超えることが想定される3週間前の日	1,700 109	160 0	フェーズ3の確保病床の85%を超えることが想定される3週間前の日	2,100 143	210 0				2,878	18,438	2,500 180	270 0						
15 新潟県	191	1,523	380 0	50 0	県警発表から移行 人口10万人あたり10人以上/週発生 (公表ベース)かつ 感染経路不明割合30%以上	460 0	99 0	県さらなる警報発令から移行 人口10万人あたり25人以上/週発生 (公表ベース)かつ 感染経路不明割合30%以上	585 0	112 0	緊急事態宣言発令相当	672 0	112 0				191	1,523	672 0	112 0						
16 富山県	80	532	111 0	12 0	入院者数がおおよそ50人以上となった日から7日後 (人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定)	230 0	14 0	入院者数がおおよそ100人以上となった日から7日後 (人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定)	481 0	36 0							172	1,443	571 0	36 0						
17 石川県	40	257	182 0	32 0	フェーズ1の病床使用率が50%を超えた場合	269 0	33 0	フェーズ2の病床使用率が50%を超えた場合	314 0	37 0							120	1,221	413 0	37 0	緊急フェーズ1の病床使用率が50%を超えた場合	504 0	41 0			
18 福井県	54	373	118 0	8 0	入院患者が75人に達した日から概ね5日以内	178 0	15 0	入院患者が115人に達した日から概ね5日以内	278 0	20 0	入院患者が180人に達した日から概ね3日以内	457 100	24 0				109	627	457 100	24 0						
19 山梨県	150	1,046	121 0	7 0	入院患者数30名以上	187 0	13 0	入院患者数60名以上	256 0	19 0	入院患者数120名以上	366 0	24 0	417 0	24 0		150	1,046	417 0	24 0						
20 長野県	226	1,583	161 0	30 0	・全県確保病床使用率が25%を超え、かつブロック別確保病床使用率が3つ以上のブロックで40%を超えると見込まれるとき ・医療非常事態宣言が発出されたとき	340 0	34 0		520 0	43 0							226	1,583	544 0	43 0	確保病床使用率が全県で70%を超える恐れがあるとき	668 0	43 0			
21 岐阜県	384	2,861	237 0	53 0	即応病床に対する病床使用率が30%を超えた場合	469 0	55 0	即応病床に対する病床使用率が30%を超えた場合	722 0	59 0	即応病床に対する病床使用率が30%を超えた場合	898 0	59 0				384	2,861	898 0	59 0						
22 静岡県	680	5,500	443 0	42 0	病床占有率15%以上、新規感染者数7.5人/週/人口10万人以上、予測ツールで3週間後の必要病床数が50%超	540 0	55 0	予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、または病床使用率が50%超の場合	684 0	58 0							680	5,500	684 0	58 0						
23 愛知県	530	8,330	1,214 0	139 0	感染拡大時：単日の入院患者485人以上 感染縮小時：7日間平均の入院患者861人未満	1,723 0	172 0										2,339	22,083	1,945 0	183 0	感染拡大時：単日の入院患者1,167人以上 感染縮小時：7日間平均の入院患者1,167人未満	2,540 400	230 0			
24 三重県	100	600	243 0	41 0	フェーズ1の病床占有率が30%を超えた日から14日後	348 0	46 0	フェーズ2の病床占有率が30%を超えた日から14日後	469 0	50 0							515	3,170	479 10	50 0	次のうち2つ以上に該当した日から14日後 ・新規感染者数(直近1週)が15人以上/人口10万人以上 ・病床占有率40%以上 ・重症病床占有率20%以上	561 10	52 0	次のうち2つに該当した日から14日後 ・病床占有率40%以上 ・重症病床占有率20%以上	600 38	56 0
25 滋賀県	90	750	176 0	30 0	フェーズ1の病床数の30%程度が利用された段階で総合的に判断	257 0	44 0	フェーズ2の病床数の30%程度が利用された段階で総合的に判断	323 0	49 0	フェーズ3の病床数の30%程度が利用された段階で総合的に判断	391 0	49 0				460	3,550	508 30	52 0	日々のモニタリングの結果、2週間後に感染の急拡大が予測される場合等に総合的に判断。					

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）												病床確保計画（緊急フェーズ）（※1）														
	フェーズ1		フェーズ2		フェーズ3		フェーズ4		フェーズ5		フェーズ6		緊急フェーズⅠ		緊急フェーズⅡ		緊急フェーズⅢ										
	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け							
26 京都府	679	5,990	802 30	161 0	入院者数、新規入院者数等の状況を見ながら、専門家の意見も踏まえて総合的に判断	997 110	175 0																				
27 大阪府（※4）	3,833	39,702	1,980 0	180 0	重症：およそ108人以上（フェーズ1の病床数180床の60%） 軽症中等症：およそ720人以上（フェーズ1の病床数1,800床病床数の40%）	2,590 0	240 0	重症：およそ168人以上（フェーズ2の病床数240床の70%） 軽症中等症：およそ940人以上（フェーズ2の病床数2,350床の40%）	3,020 0	320 0	重症：およそ224人以上（フェーズ3の病床数320床の70%） 軽症中等症：およそ1,080人以上（フェーズ3の病床数2,700床の40%）	3,460 0	410 0	重症：およそ287人以上（フェーズ4の病床数410床の70%） 軽症中等症： フェーズ5の緊急避難的確保病床を除く3,450床運用要請：およそ1,830人以上（フェーズ4の病床数3,050床の60%） 緊急避難的確保病床運用要請：およそ2,070人以上（フェーズ5の病床数3,450床の60%）	4,690 0	590 0	重症：およそ287人以上（フェーズ4の病床数410床の70%） 軽症中等症： フェーズ5の緊急避難的確保病床を除く3,450床運用要請：およそ1,830人以上（フェーズ4の病床数3,050床の60%） 緊急避難的確保病床運用要請：およそ2,070人以上（フェーズ5の病床数3,450床の60%）	4,690 0	590 0								
28 兵庫県	1,088	7,897	300 0	30 0	新規陽性者1週間平均20人以上または病床利用率10%以上	600 0	60 0	新規陽性者1週間平均80人以上または病床利用率20%以上	1,000 0	100 0	新規陽性者1週間平均400人以上または病床利用率50%以上	1,200 0	120 0	感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,629 0	142 0											
29 奈良県	227	1,734	今後の感染状況を踏まえて、決定	今後の感染状況を踏まえて、決定	上り：病床利用率50%を1つの目安として、感染状況を踏まえて決定 下り：感染状況を踏まえて、今後検討	412 0	27 0	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	537 0	36 0																	
30 和歌山県	104	777	167 0	17 0	国内外の状況を総合的に判断	470 0	26 0	基準日（週当たり新規感染者15人/10万人）等、総合的に判断	630 0	40 0																	
31 鳥取県	47	325	144 0	19 0	入院患者数がフェーズ1の即応病床数の4割に達する日	239 0	30 0	入院患者数がフェーズ2の即応病床数の4割に達する日	350 5	47 0																	
32 島根県	45	450	132 0	5 0	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	163 0	10 0	入院患者総数が50人となった日	219 0	16 0	入院患者総数が100人となった日	275 0	25 0	入院患者総数が100人を超えフェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	371 0	28 0	入院患者総数が100人を超え一般フェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	45 0	450 0	371 0	28 0						
33 岡山県	307	1,893	207 0	27 0	直近1週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	400 0	37 0	稼働病床が100床を超えたとき	502 0	51 0	稼働病床が200床を超えたとき	584 0	68 0														
34 広島県	111	903	363 0	28 0	新規感染者が継続的に発生	422 0	31 0	直近7日間の10万人当たり新規感染者数4人以上	499 19	35 0	直近7日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	569 19	45 0														
35 山口県	206	1,400	136 0	8 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	244 0	12 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	460 0	23 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	612 0	47 0														
36 徳島県	77	605	118 0	6 0	入院患者数が20人となった日	142 0	6 0	入院患者数が70人となった日	175 0	16 0	入院患者数が120人となった日	234 0	25 0	入院患者数が180人となった日	263 22	25 0	入院患者数が180人となった日	77 0	605 0	263 22	25 0						
37 香川県	111	867	152 0	17 0	入院患者がフェーズ1の病床数の3分の1を超える	201 0	21 0	入院患者がフェーズ2の病床数の2分の1を超える	271 0	30 0																	
38 愛媛県	90	655	251 0	6 0	①週当たり新規陽性者数34人（2.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の10%（35人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	278 0	10 0	①週当たり新規陽性者数101人（7.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の20%（69人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	343 0	19 0																	
39 高知県	60	500	88 0	16 0	フェーズ1の病床数の10%が利用された段階	157 0	16 0	フェーズ2の病床数の20%が利用された段階	197 0	16 0	フェーズ3の病床数の35%が利用された段階	252 0	24 0	フェーズ4の病床数の45%が利用された段階	321 0	24 0	フェーズ5の病床数の60%が利用された段階	127 0	851 0	369 0	58 0						
40 福岡県	1,253	11,563	359 0	77 0	入院患者100人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	551 0	99 0	入院患者数160人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	866 0	118 0	入院患者数660人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,297 0	195 0	入院患者数1,253人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,826 0	217 0	入院患者数1,253人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,253 0	11,563 0	1,826 0	217 0						
41 佐賀県	182	1,322	161 0	3 0	入院患者数が25人となったとき	247 0	8 0	入院患者数が50人となったとき	381 10	15 0	入院患者数が90人となったとき	558 50	40 0	入院患者数が130人となったとき	578 50	48 0	入院患者数が130人となったとき	182 0	1,322 0	578 50	48 0						
42 長崎県	137	983	82 0	21 0	即応病床の3分の1以上使用	149 0	21 0	即応病床の2分の1以上使用	305 0	21 0	二次医療圏ごとに確保する即応病床の2分の1以上を使用	466 0	36 0														
43 熊本県	300	2,337	598 0	49 0	以下のいずれかに該当した場合 ①即応病床利用率が25%を上回る状況が続く場合 ②その他、高齢者施設でのクラスター発生等により体制移行が必要となる場合	725 0	53 0																				
44 大分県	2,423	13,103	389 0	34 0	・重症者用病床利用率10%以上・病床利用率10%以上・感染経路不明者割合30%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	439 0	34 0	・重症者用病床利用率20%以上・病床利用率20%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	461 0	42 0	・重症者用病床利用率50%以上・病床利用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	529 0	43 0														
45 宮崎県	221	1,724	244 0	12 0	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	321 0	15 0																				
46 鹿児島県	199	1,679	45 0	1 0	フェーズ1の即応病床に対する3日間の病床使用率が30%以上に達した場合	299 0	6 0	フェーズ2の即応病床に対する3日間の病床使用率が40%以上に達した場合	437 0	11 0	フェーズ3の即応病床に対する3日間の病床使用率が50%以上に達した場合	567 0	34 0														
47 沖縄県	262	1,656	146 0	18 0	入院患者が10人を超えたとき	204 0	21 0	入院患者が23人を超えたとき	310 0	30 0	入院患者が150人を超えたとき	503 0	53 0	入院患者が200人を超えたとき	762 0	62 0	入院患者が500人を超えたとき	809 0	6,744 0	896 0	64 0	入院患者が630人を超えたとき	953 0	67 0	入院患者が720人を超えたとき	1,023 0	73 0
全国計（※2）	25,353	213,585	病床確保計画（一般フェーズ）	確保病床（計画）数		44,466	確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）		1,243	確保病床（計画）数（うち重症者向け）	4,154	確保病床（計画）数（うち重症者向け）	0	病床確保計画（緊急フェーズ）	33,842	280,678	最大確保病床（計画）数	48,691	最大確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）	2,211	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）	4,317	最大確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）	0			

（※1）病床確保計画（緊急フェーズ）は、感染者急増時の緊急な患者対応方針に基づく計画を指す。

（※2）「即応病床（計画）数」、「即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）」、「うち重症者向け即応病床（計画）数」、「うち重症者向け即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）」の全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。

（※3）東京都の重症者向け病床数はオミクロン株の特性を踏まえた東京都基準（特定集中治療室管理料又は救命救命入院料を算定する病床及び人工呼吸器又は体外式心臓補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床又はハイフローサービリーを実施する患者用の病床）により集計したものであり、国基準（集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心臓補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計した東京都の重症者向け病床数は一般フェーズにおける最終フェーズ及び緊急フェーズにおける最終フェーズにおいて1,007床となる（その場合、一般フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,506床、緊急フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,669床となる）。

（※4）大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したものである。